

---

公益社団法人 日本広告制作協会

# 2023 年度事業報告

## 第 36 回定例総会

開催日：2024 年 5 月 30 日（木）16 時～

会 場：ZOOM オンライン&日本広告制作協会 事務局

---



## 変化を受け入れた 2023 年 変化を始める 2024 年

世界的なコロナ感染症による経済活動の停止などが重なり、2023 年 5 月、私が理事長を拝命した後も、止まらない会員社の退会、メディアの変化・デジタル化によるグラフィックデザイン業務の衰退と、会員社・OAC ともに存続を危ぶまれる厳しい環境を目の当たりにした 1 年となりました。この現実を素直に受け止めざるを得ない状態でした。

しかし、厳しいながらも、デザイン&クリエイティブの本質・価値・機能が低下したわけではなく、求められる解の表現が多様化し変容したことに、対応しきれっていない現状であると分析します。デザインの、意図的に設計・計画しあらゆる手段で解決するという本来の意味に立ち戻りましょう。過去に執着せず変化をいとわない新しい挑戦をしていきましょう。

**柔軟にしなやかに、さあ！新しい時代を作りましょう！**

理事長 名久井 貴詞

## 第36回定例総会 次第

1. 開会
2. 理事長 挨拶
3. 議長 選任
4. 議事録署名人 選任
5. 審議
  - ◆ 第1号議案  
「正会員外理事」の選任および承認の件
  - ◆ 第2号議案
    - 2号議案 -1  
個人会員枠の新設の件
    - 2号議案 - 2  
定款 第6条法人の構成員 の変更の件
  - ◆ 第3号議案  
定款 第17条 議長 の変更の件
  - 2023年度 事業報告
  - ◆ 第4号議案  
2023年度 決算報告及び監査報告 承認の件
6. **2024年度計画について(報告事項)**
  - 2024年度 事業計画
  - 2024年度 予算書

## 第 1 号議案

### 「正会員外理事」の承認の件

#### ◆ 理事候補 1 名 石田 恵 氏 多摩美術大学 キャリアセンター課長

前任の多摩美術大学 青木真理理事が 3 月末をもって学内異動となり、3 月 14 日付で辞任。理事は 1 名減となり、理事数は 14 名。なお、定款で定めている理事定数（10 名以上 15 名以内）は満たしている。

しかし、2024 年度は次世代のクリエイターはもとより、学生にも目を向けていく方針にて、学校との関りをより強化していきたい。この考えのもと、後任候補として多摩美術大学キャリアセンター課長の石田恵氏に打診、4 月 18 日開催の理事会にて承認を得た。

ここに皆さまの承認を得る次第です。

## 2 号議案 -1

### 個人会員枠の新設の件

正会員・賛助会員以外に、新たに個人会員枠を設けたい。

現在、正会員は法人のみ。賛助会員では個人も認めているが、実質加入者はいない。そこで、デザイン・コンテンツ制作に従事する個人の方の入会を別枠として設けたい。

#### 【議案の背景】

フリーランス等、個人でデザイン・コンテンツ制作に従事する方もいる中、理事会では、個人の方こそ、広告制作の周辺情報を求めたいであろうし、個人へも門戸を広げ、共にデザイン・クリエイティブの価値を高めていくことが、公益法人としての責務ではないかとなった。

#### 個人会員資格（別途定める会員規程に下記を追記します）

1. デザイン・コンテンツ制作を営む個人であること。  
但し、広告制作会社に所属する個人は資格を有さない。
2. 広告制作業以外の会社組織にて（印刷会社・事業会社等）デザイン・コンテンツ制作に従事するものは資格を有する。
3. 職種はデザイン・コンテンツ制作の全般とする。デザイナー（デジタル・グラフィックの別なし）・コピーライター・プランナー・カメラマン・プロデューサー・映像制作者、その他理事会で認める制作業務に従事する者とする。
4. 個人会員は総会における議決権は有さない。

#### 会費

月額 5 千円（年額 6 万円）、入会金 2 万円とする。

## 2号議案-2

### 定款 第6条 法人の構成員の変更の件

上記議案 2-1 において個人会員が承認された場合、定款の変更が必要となります。

現行定款

・この法人に次の会員を置く。

- ① 正会員は、本法人の目的に賛同して入会したコミュニケーション・デザイン、コンテンツ制作を営む法人とする。
  - ② 賛助会員は、本法人の目的に賛同し、正会員と志を同じくする事業者・団体及び個人とする。
  - ③ 名誉会員は、この法人の功労のあった者、又は学識経験者で総会において推薦された者とする。
2. 前項の会員のうち正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。
3. 法人又は団体たる会員は、当該法人の代表者としてその権利を行使する1人の者を定め、理事長に届け出なければならない。

### 変更案

・この法人に次の会員を置く。

- ① 正会員は、本法人の目的に賛同して入会したコミュニケーション・デザイン、コンテンツ制作を営む法人とする。
  - ② 賛助会員は、本法人の目的に賛同し、正会員と志を同じくする事業者・団体及び個人とする。
  - ③ 個人会員は、別途理事会で定める会員資格を有し、本法人の目的に賛同して入会したコミュニケーション・デザイン、コンテンツ制作を営む個人とする。(新規追加項目)
  - ④ 名誉会員は、この法人の功労のあった者、又は学識経験者で総会において推薦された者とする。
2. 前項の会員のうち正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。
3. 法人又は団体たる会員は、当該法人の代表者としてその権利を行使する1人の者を定め、理事長に届け出なければならない。

## 3号議案

### 定款 第17条 議長の変更の件

現行定款

総会の議長は、当該総会において社員の中から選出する。

上記第17条を実態に合わせ、下記に変更したい。

### 変更案

総会の議長は、当該総会において理事長または理事の中から選出する。

## 第4号議案

# 2023 年度事業報告

時代の変換点であった 2023 年。

2023 年度事業は、計画した内容はほぼ達成されました。

しかし事業とは別に特筆しておかなければならないのは、退会社の急増です。

コロナ禍に於いては、OAC としても各種情報の提供やアンケートを通じた現状の共有等に努めてきましたが、2023 年に入りデジタルシフト化の影響もあり、経営環境の悪化（経費削減）を中心に、従来あまり協会活動に参加出来ていなかった企業の退会が相次ぎ、退会社は 18 社となりました。結果、この 50 年で初めての赤字決算となりました。コロナ禍の 3 年間を経て、2023 年は AI を含めて様々な分野で様相を一変させました。

しかし、このような状況を受け「新たな OAC を創造する」ために、更に新たな時代を切り拓いていくために、模索し続けた 1 年となりました。

## 会員動向

2023年 4 月 1 日～2024年 3 月 31 日（入退会）

		正会員	賛助会員
入 会	1	(株)ステッチ	(一社)日本アドコンテンツ制作協会
	2		(一社)Interactive Communication Experts (I.C.E.)
退 会	1	(株)アイビーネット	エイクエント・エルエルシー
	2	(株)アジア太平洋観光社	(株)エスケイワード
	3	(株)インクポイント	(株)ADK クリエイティブ・ワン
	4	(株)ガット	OCA 大阪デザイン&IT 専門学校
	5	(株)グラヴ	(株)ケイプラン
	6	C.C. (株)レマン	ジェイプリント(株)
	7	(株)ノブレ	(株)デザインオフィス・キャン
	8	(株)ハウラー	日本デザイン福祉専門学校
	9	(株)Baby Tokyo	(株)ボーンデジタル

## 2024年 3 月 31 日現在の会員社数

◇ 正会員社	55 社	(前年同月比 85.7%: 8 社減)	前年 63 社
◇ 賛助会員社	54 社	(前年同月比 88.5%: 7 社減)	前年 61 社
合計	109 社	(前年同月比 87.9%: 15 社減)	前年 124 社

正会員社数 55 社 (2024年 3 月 31 日現在) (五十音順)

- |                                |                             |                          |
|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------|
| 1. (株)アーツ                      | 26. (株)スパイス                 | 50. フェロールーム(株)           |
| 2. (有)アイル企画                    | 27. (株)センシュウ・アド・<br>クリエイターズ | 51. (株)プランテーション          |
| 3. (株)アクロバット                   | 28. (株)創芸社                  | 52. (有)ブレインカフェ           |
| 4. (株)アズワン                     | 29. (株)ソリッド・プラス             | 53. (株)プロモーションズライト       |
| 5. アップワード(株)                   | 30. (株)たきコーポレーション           | 54. (株)ホシ・デザイン           |
| 6. (株)アド・プランニング研究所             | 31. (株)ティ・エー・シー企画           | 55. (株)読広クリエイティブ<br>スタジオ |
| 7. (株)アドブレン                    | 32. (株)ティー・ケー・オー            |                          |
| 8. (株)一星企画                     | 33. (株)TCD 東京オフィス           |                          |
| 9. インプレッション(株)                 | 34. (株)ティーディーエス             |                          |
| 10. (株)ウイルコミュニケーション<br>デザイン研究所 | 35. デザインプール(株)              |                          |
| 11. (株)エージー                    | 36. (株)電通クリエイティブ X          |                          |
| 12. (株)エー・ティ・エー                | 37. (株)東京アドデザイナーズ           |                          |
| 13. (株)エディターシップ                | 38. (株)東京グラフィック<br>デザイナーズ   |                          |
| 14. (株)オックス                    | 39. (株)東京ニュース               |                          |
| 15. (株)オフィスバンズ                 | 40. (株)東北新社                 |                          |
| 16. (株)オンド                     | 41. NISSHA エフエイト(株)         |                          |
| 17. (株)ガッシュ                    | 42. (株)日本デザインセンター           |                          |
| 18. コアプランニング(株)                | 43. (株)2055                 |                          |
| 19. (株)サクラアルカス                 | 44. (株)ノエ                   |                          |
| 20. サン・クリエイティブ(株)              | 45. (有)パウ広告事務所              |                          |
| 21. (株)スキップ                    | 46. (株)博報堂プロダクツ             |                          |
| 22. (株)スタジオゲット                 | 47. (株)ハドル                  |                          |
| 23. (株)スタヂオ・ユニ                 | 48. (株)樋口事務所                |                          |
| 24. (株)ステッチ                    | 49. (株)広瀬企画                 |                          |
| 25. (株)スナップ                    |                             |                          |

賛助会員社数 54社 (2024年3月31日現在) (五十音順)

- |                                                         |                                |                        |
|---------------------------------------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 1. RX Japan(株)                                          | 20. (株)第一製版                    | 38. 専門学校日本デザイナー学院      |
| 2. アダムシナプス                                              | 21. (株)竹尾                      | 39. 日本電子専門学校           |
| 3. (株)アド・テクニカ                                           | 22. 多摩美術大学                     | 40. 野口会計法務事務所          |
| 4. (有)イメージ・プラネット                                        | 23. タンデムクロス(株)                 | 41. (株)博報堂             |
| 5. (一社)Interactive<br>Communication<br>Experts (I.C.E.) | 24. (株)電通                      | 42. (株)パルック            |
| 6. 大阪芸術大学                                               | 25. (株)電通クリエイティブ<br>キューブ       | 43. (株)二葉企画            |
| 7. (株)大塚商会                                              | 26. 東京グラフィックコミュニケーションズ<br>工業組合 | 44. 町田デザイン<br>& 建築専門学校 |
| 8. (株)オリコム                                              | 27. 東京工科大学                     | 45. マルキンアド(株)          |
| 9. キノマーケティング ジャパン(株)                                    | 28. 東京コミュニケーションアート<br>専門学校     | 46. 武蔵野美術大学            |
| 10. (株)光画                                               | 29. 東京造形大学                     | 47. (株)メディアネットワーク      |
| 11. (株)ジェイスリー                                           | 30. 東京デザイン専門学校                 | 48. (株)モスデザイン研究所       |
| 12. (株)シュガー                                             | 31. (株)Too                     | 49. (株)モリサワ            |
| 13. (株)ショウエイ                                            | 32. (株)トラック                    | 50. (株)山崎デザイン事務所       |
| 14. 女子美術大学                                              | 33. (株)日広社                     | 51. 山脇美術専門学校           |
| 15. (株)スカイアーチ<br>ネットワークス                                | 34. (株)日庄                      | 52. (株)ユウクリ            |
| 16. (株)スタジオテック                                          | 35. (株)日東装備                    | 53. (株)ライトアップ          |
| 17. (株)精美堂                                              | 36. (一社)日本アドコンテンツ<br>制作協会      | 54. (株)玲企画             |
| 18. (株)宣伝会議                                             | 37. 日本工学院八王子専門学校               |                        |
| 19. (株)セントラルプロフィックス                                     |                                |                        |



## 三陸鉄道カレンダー 2024年版 制作

宮沢賢治のフレーズで三陸鉄道と三陸を支援。

幾多の困難から立ち上がる三陸鉄道とその沿線を支援するために始めた本企画も3回目となります。今回は宮沢賢治のフレーズを各月のテーマとし、「三陸鉄道イーハトーブカレンダー」と題し、宮沢賢治が描いた理想郷「イーハトーブ」=岩手を、そして三陸を訪ねてもらいたい！そして現代にも通じる宮沢賢治の考え方を、このカレンダーを通して知るキッカケにしてもらいたいと制作しました。

イラスト・絵画を公募・ギャラリー列車の運行

昨年同様、全国公募にてイラストや絵画を募集。

OAC 会社社クリエイターを含め、全国から73 作品が寄せられ(前回比 112%)、全作品を掲出したギャラリー列車が2023年10月、三陸沿線を運行いたしました。

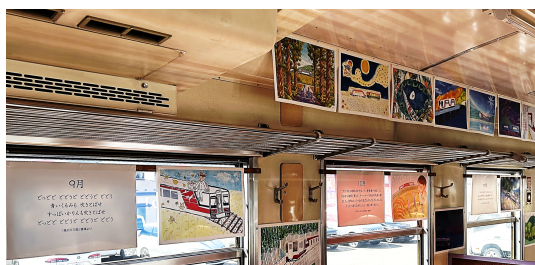
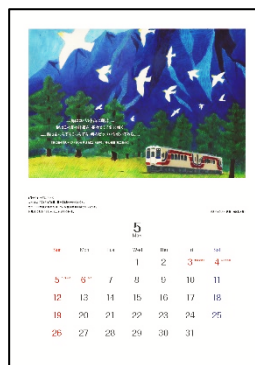
13 作品を選考し、カレンダーに。

選考は73 作品から三陸鉄道さんと当協会が実施。表紙を含めた13 作品を選考しカレンダーに仕上げました。なお、巻末にはおススメ情報として沿線の見所やグルメ情報、そして宮沢賢治ゆかりの場所などを記載。「イーハトーブ」=岩手を、そして三陸を訪れていただける一助になればと思います。

※ カレンダー仕様:A4(展開 A3)サイズ28P

PR への貢献

宮沢賢治を取り上げた内容に、ギャラリー列車の運行初日には、地元岩手のテレビ局、新聞社など取材が多数入り、この企画のPRにも貢献出来ました。



応募作品等はHPをご覧ください

<http://www.oac.or.jp/kuribora/santetsu2023/result.html>

## 第7回 想いを伝えるカードデザイン大賞

応募総数 119 点 (前回は: 53.4% 前回数 221 点)

専門学校 6 校 (109 作品)

大学 2 校 ( 2 作品)

一般 7 名 ( 8 作品)

### 審査状況

今回の選考委員は、株式会社コクヨ アートディレクターの佐々木拓氏、金井あき氏、歌人の伊藤紺氏、そして協賛企業2社、ならびに当協会専務理事が選考にあたり、各賞を決定しました。

### 贈賞式

開催日:2023 年 11 月 25 日(土)

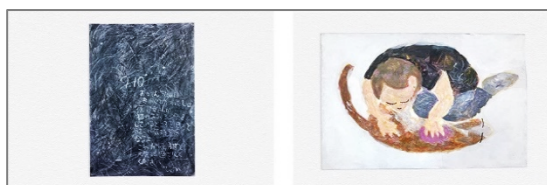
会 場:ZOOM オンライン及び You tube Live



### 大賞作品



### 歌人 伊藤 紺 賞



受賞作品は HP でご覧ください。

<http://www.oac.or.jp/gcawards2023/prize2023/>

## 【 学生対象コンテスト 】

### 第 12 回学生広告クリエイティブアワード

応募学校数：95 校（前回は 84%：前回は応募校 113）

高等学校 24 校（前回参加校数 20 校）

専門学校 30 校（前回参加校数 33 校）

大学 41 校（前回参加校数 60 校）

応募総数：848 点（前回は 62%：前回は応募数 1,359）

グラフィック作品 735 点（前回は応募数 1,221）

映像作品 113 点（前回は応募数 138）

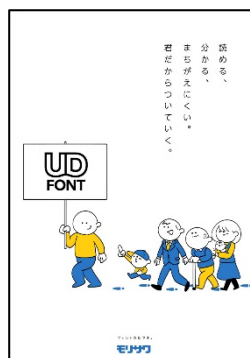
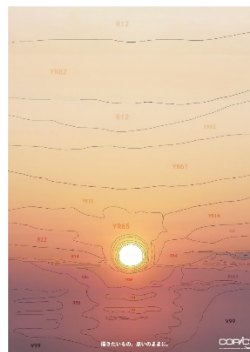
今回は、全日本空輸(株)、(株)モリサワ、(株)Too/COPIC の 3 社にご協力いただきました。企業の選考とは別に、OAC 賞の選考は以下を基準としました。

1. 粗削りでも、今後に期待が出来るクリエイティブになっているか。伸び代があるか。
2. 広告は観てもらえない!という前提に立って、目立つか、興味や関心を惹かせるか。
3. これを観る人が次の行動に移れるか（行きたくなったり、使いたくなったり・・・）、企業の課題に沿って企業に利益をもたらすかどうか。

企業としては、この順番が逆転し、且つ1は除外されません。これを実現するために、プロは必死になって課題の本質は何かを考えるとところから始めます。いきなり表現ではないことを学生の皆さんには理解してもらいたいと思います。

さて、授賞式は今回もオンラインで開催。今回も各企業ごとに分かれて（部屋割りし）受賞した学生さんと企業担当者の方との話し合いの場を設けましたコロナ禍ではありますが、オンラインの良さを活用した、コミュニケーションの場となっています。

今後もデザインの「考え方」を学生の段階から意識してもらい、常にクリエイティブであり続けてもらうために継続してまいります。



受賞作品は HP でご覧ください。

[http://www.oac.or.jp/gakusei\\_award2023/prize.html](http://www.oac.or.jp/gakusei_award2023/prize.html)

## 第12回アイデアで社会をよりよくなるコンテスト

応募学校数：101校（前回は168校：前回応募校60）

中学校 10校（前回参加校数 1校）  
 高等学校 66校（前回参加校数 31校）  
 高等専門学校 0校（前回参加校数 1校）  
 専門学校 9校（前回参加校数 7校）  
 大学 16校（前回参加校数 20校）

応募総数：685点（前回は67%：前回応募数1,016）

「自ら課題を見つけ、自ら解決策を考える」をコンセプトに開催している学生向けコンテスト。今回は応募学校数が初めて千を超えましたが、今回は応募学校数が初めて100校を超え、中学校・高等学校の参加が増えたのが特徴です。

本当にその課題は自分にとって解決すべきものなのか。自分事として考えられるのか。

2024年1月1日の能登半島地震をきっかけとした防災に関すること、また「忘れられたリコーダーに新たな命を」、「香害を解決する」など、実際に体験したことに基づくものや、日頃から気に掛かっている内容も寄せられました。このように「自分事化」できる何かを見つけ、どうしたらそれを解決できるだろうかと考えていくことは、今後に繋がっていくだろうと思います。

また「きょうだい児」支援など初めて聞く言葉もあり、逆にコチラの気付きにつながるものもありました。

なお、せっかくのアイデアも、伝わらない、伝わり難いものもあり、アイデアをどう表現しアウトプットすべきか、クリエイティブな側面にも気を配ってほしいと思います。

エレベーターの開閉ボタンを分かりやすく

**問題** 開閉ボタンのマークが似ていて暗闇に判断しづらい  
 駆け込んでくる人などがいた場合、慌てて押す為より間違えやすい

**原因** エレベーターの開閉ボタンは「<|>」「|>」のような形でアイコン化されており2つの三角形が扉の開く方向を示すといったものがほとんどだが見ようによってはどちらも閉まっているようにも開いているようにも見えてしまう。

**アイデア** 従来の形を残しつつ人のアイコンを加えることで方向が分かりやすくなり判断しやすのでは？

光合成する藻の繊維！Algae

**現状** 【世界中で藻が大量発生】原因：工業化、環境化、影響：水中生物の成長抑制、浄水機能、水質低下、気候悪化、悪臭

**解決策** 【環境負荷の大きい繊維生産】エネルギー使用量の多さ、大量のCO2排出、使用期間の短さ、マイクロプラスチック

2つの問題を掛け合わせ... 環境に優しい藻の新繊維 悪影響を排除&資源として利用 地球環境の改善に資する

①生産 発生した藻類を採取する 藻化ナトリウム水溶液に溶解した藻を入れ、カルシウム基のNaがCaに交代し、架橋反応によって膜が出来る

②使用 【繊維の用途】1. 窓際の室内カーテン、2. 街中のサンシェード、3. 水槽のフィルター

③廃棄 アルギン酸は海藻由来 土に還る 微生物が分解 環境負荷が少なく 生分解もある 光合成を行う藻の繊維 環境問題に 役立つことが

藻の繊維	化学繊維
CO2: 0g	約2.5g
水: 約13ml	約230ml

藻の繊維は CO2排出ゼロ 水の消費約80% 削減可能

ブックバンクプロジェクト ~学生が読む格差対策~

学生から本を集めて子どもたちに届けたい

課題：沖縄県の子どもの読書格差、教育格差

ブックバンクプロジェクト 読書格差を解消し、読書習慣を定着させる。読書を通じて、知識の共有と、読者の拡大を目指す。

私たちの思い 読書を通じて、知識の共有と、読者の拡大を目指す。

実際に児童館で行った活動

ブックバンクのこれから

受賞作品はHPでご覧ください。

[http://www.oac.or.jp/idea\\_contest\\_12th/work.html](http://www.oac.or.jp/idea_contest_12th/work.html)

## ココロはずむ一行タクシー東京の街にくりだそう！

### コロナー段落の東京の街にくりだそう！

コロナ禍の3年。タクシー業界にとっても大変な日々となったわけですが、2019年から始めた「一行タクシー」企画は、2020年、2021年とコロナ禍による中断を挟み、2022年は日本でタクシーが営業を開始してから110周年にあたることから110台のタクシーにフレーズをラッピングしました。

2023年は、20台のタクシーに3つのフレーズをラッピングと規模は縮小しましたが、この企画の浸透でタクシーへの注目度向上を図る東京ハイヤー・タクシー協会様の強い想いにより実現しました。

### コピー（フレーズ）の応募総数は、11,750本！

今回ラッピングされるのは僅か3本と狭き門でしたが、11,750本のフレーズが寄せられました。

### 東京ハイヤー・タクシー協会選考の3フレーズ

ラッピングされたのは、以下のフレーズとなります。

8月の熱い東京を走りました。

- 行き先を告げて始まる物語
- いつだってあなたのための特等席
- 久しぶりぐるっと東京 新発見！

ラッピングには至りませんでした。が、入選等々のフレーズもご紹介。

- 再始動 街もあなたも 走り出す
- タクシー上手は、TOKYO 上手。
- お先に、室冷します。
- それぞれの、始発駅。
- 思いタツたが吉日
- 東京日和 タクシー日和
- どうぞストレスを、お忘れ物に。
- 電車は最寄り、タクシーはあなた寄り



選出されたフレーズの一覧は下記よりどうぞ！

[http://www.oac.or.jp/taxi\\_copy2023/result.html](http://www.oac.or.jp/taxi_copy2023/result.html)

## 経営と人材の育成を考える勉強会

公益事業

### 「クリエイター社員の可能性を信じて新領域へ ～新規事業 EC サイト LILI et NENE (リリエネ) の挑戦～」

開催日:2023年4月18日(火) 会場:(株)スタジオ・ユニ  
講師

佐藤 昭一氏 (株)スタジオ・ユニ 代表取締役社長  
小笠原 良子氏 (株)スタジオ・ユニ デザイナー



会員社の(株)スタジオ・ユニさんがコロナの始まった2020年に開始したパリを中心としたヨーロッパの子ども服や雑貨を販売するEC事業LILI et NENE(リリエネ)。自社の強みを見詰め直し、デザイン・コピーライティング・撮影、そして長年の百貨店との仕事で培ったファッションや販売に関することを基本とし、それを活かせる判断。担当しているのは、長年グラフィックデザイナーとして活躍している小笠原さん。この事業の担当にと言われた際は、デザインも活かそうだし「面白そう!」と思ったそうです。商品の買付け、通関手続き、関税ルール、価格設定、お客様対応…全てが手探り状態でのスタート。しかし、そこからオリジナル商品の開発や、インスタライブなど様々なチャレンジが続いています。

佐藤さんは言います、何も知らない段階からでも、興味や好奇心という感性で、クリエイターにはそれが出来る可能性があると思う。参加された皆さんにとっては刺激を受けた内容となりました。

LILI et NENE

<https://www.lilietnene.com/>

### デジタル時代のデザインについて考察する！ 行政におけるデザインの役割と、 これからのデザインの方向性を考える

開催日:2023年6月21日(水) 会場:(株)Too  
講師

外山 雅暁氏 デジタル庁 企画官  
藤井 賢二氏 (株)たきコーポレーション執行役員 CD



・会場参加者数:21名

・You tube Live 申込者数:157名

経済産業省・特許庁にて「デザイン経営」の普及に当たっていた外山さん。デジタル庁での取組みをお聞きしました。

- 誰一人残されない人に優しいデジタル化の推進
- 顧客起点のサービスデザイン

等々のお話はアーカイブでご確認いただきつつ、「デジタル時代に求められるデザイナーとは?」の質問に、外山さんは「誰でもわかりやすいものは大事だが、面白くないと見てくれない。そこに創造性を付与できるかどうか大事」、藤井さんは「結婚式の2次会を盛り上げるのに、様々なツールを活用しその場を、その人たちを喜ばせたいという想いを持てる人」と回答。

外山さんはそれを受け「国民でも結婚式の2次会でも、それを体験する方々の想いを理解できる人間中心主義であるべき」とまとめました。

アーカイブ視聴

<https://www.youtube.com/watch?v=JgxSmnFFQZA>

## コロナ禍を乗り越えて、ANA が向かう先と 広報・SNS 戦略

開催日:2023年7月25日(火) 会場:(株)Too  
講師

梶本 裕和氏 ANA ホールディングス 広報・コーポレート  
ブランド推進部 SNS・メディアプランニングチーム課長



コロナ禍で飛行機を飛ばせない時期などあり、大きな打撃を被ったANA。梶本さんいわく、航空需要は減少ではなく「蒸発」。そのため、人件費の削減・採用停止・社員の一時帰休、外部出向、また飛行機の売却などを行い、1円でも稼ぎ出し、この経営危機に向かいあったといいます。このような状況下で、予算も無く自分たちで出来ることは自分たちで行うことに。特に旅に行けない時期でも、ANAファンを獲得するべく、SNSで動画を配信。しかも、ANA社員自らが登場する方針とし、撮影・編集も自ら行っています。従来だと広告代理店さんなどに依頼していたようなことも、例えばタレントさんや、他の企業などとのコラボも自ら直接交渉しています。

会場からは、制作会社も出る幕が無さそうですね。

との声に、梶本さんは「コロナ禍を体験し、出来ることはやっていくべきだとは思いますが、我々もサラリーマン。異動もあり、それがうまく継続できるのか、向き不向きもある。今後は、アイデア面など一緒に考えていくこともあると思う。との回答でした。

### ANA2023-2025 中期経営戦略

<https://www.anahd.co.jp/group/pr/202302/20230215.html>

## 周りを元気にする人が多い職場は、変化に対応できる！ウェルビーイングが幸せな働き方を科学的に考える

開催日:2023年9月26日(火) 会場:(株)Too  
講師

矢野 和男氏 (株)日立製作所 フェロー  
(株)ハピネスプラネット 代表取締役 CEO



日立入社以来、半導体の研究・開発に当たっていた矢野さん。しかし日立は半導体事業から撤退。そこから人間にとって「幸せ」な状態とは何か、ウェアラブルセンサ等を用い実証実験を重ねてきました。その結果、生理的安全性などを含み、幸せな状態にあるとビジネスの成果も向上し、よりクリエイティブでいられる。

(成果を上げたから幸せではなく、幸せだから成果が上がる)。また3人いたとして、V字型に2人がもう一人と接するより、三角形でお互いに他と協調・共感・応援し合える環境にある職場では生産性も高く幸福度も高い。幸せで生産的な人や企業をつくるには、

Step1. 関係性の質 (三角形・心理的安全性)

Step2. コミュニケーションの質 (多様性の受容・想像性向上)

Step3. 生産性・経済性 (常に成長する組織へ)

※ 順序を間違え、Step3から始めると、数字への圧力、多様性と創造性の低下、業績の低下や離職と悪循環になりやすい。

### アーカイブ視聴

<https://www.youtube.com/watch?v=tPrAGR0VriM>

## 経営のお悩み相談会

開催日:2023年10月24日(火) OAC 事務局



各自、現在抱えている悩みや課題を共有する場。直ぐ答えが出るわけではありませんが、同じような悩みを皆さんお持ちのようです。

- 広告制作は斜陽産業か？
  - ・ AIの台頭
- 後継者問題
  - ・ 後継者をつくって来なかった
  - ・ デザインの現場は良いが、マネジメントはイヤと言う声多し。
- オンラインの時代なので、地方企業にもアプローチしたがうまくいかなかった
- デザイン領域の幅は広がっていると思うが、なかなか新たな分野に踏み切れない。社員もあまり変化を好まない傾向も
- 忙しくなってきたはいるが、利益を生み出せない
  - ・ 単価は上がらない
  - ・ 忙しさからの離職(コロナでの働き方の変化)
- 事業会社や広告会社の内製化
- 良い人材を採用できない
- 学生がこの業界を目指しているのか？
- コンサル的な動きの出来る社員が欲しい

様々な課題が見えてきました。

今回は課題の共有までですが、今後は課題に対してうまく対応できている例など、前向きに考えられる内容も行っていきたいと思います。

## 今さら聞けないけど本気でやりたい方への

## ブランディング入門セミナー (名古屋開催)

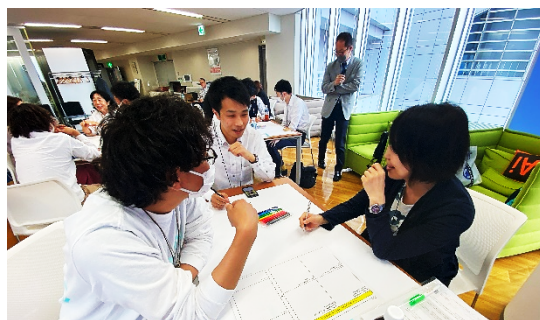
開催日:2023年6月23日(金)

Too 名古屋オフィス

講師

奥田 真由氏 (株)たきコーポレーション アートディレクター

久方振りの名古屋での開催。名古屋の会員社が企画・提案し、実現しました。ブランディングの基本を学びつつ、ワークショップ形式で更に理解を深める構成。アンケートの結果でも好評でした。





## OAC 50周年記念広告・クリエイティブの 未来を考える座談会



2024年2月、OAC設立50周年に向け、広告・クリエイティブ業界のこれまでを振り返るとともに、残すべきもの、変えていくべきもの等々を検証していく企画となりました。

### 1. 2023年4月19日(水) 会場: ㈱Too クリエイティブの価値って何だろう？

#### 【デザイナー・コピーライター編】

田中 貴弘氏 コピーライター ㈱アクロバット  
小野 愛佳氏 アートディレクター ㈱電通プロモーションプラス  
岩永 泉氏 グラフィックデザイナー  
中島 直子氏 クリエイティブディレクター、コピーライター  
ファシリテーター 梶原鉄也(OAC 理事)  
(テーマ)

広告と時代の関係・企画を考えること・画のチカラ、言葉のチカラ・変わるもの、変わらないもの



第1回の内容

[http://www.oac.or.jp/50\\_year/](http://www.oac.or.jp/50_year/)

### 2. 2023年6月7日(水)

会場: 用賀 IOBAN スタジオ

#### ビジュアルの持つ力とは？

#### 【カメラマン・ヘアメイク・モデル事務所編】

フォトグラファー ケイ オガタ 氏

ヘアメイクアーティスト RYUJI 氏

Model club donna 代表取締役 島崎純子 氏  
(テーマ)

広告と時代の関係・欧米と日本(アジア)との格差(アート、ファッションから)・広告ビジュアルのチカラ



### 3. 2023年11月30日(木) 会場: ㈱Too 未来のコミュニケーションのあり方に、 クリエイティブはどう関わっていくのか

#### 【最新テクノロジーとクリエイティブ編】

中村 洋基氏 PARTY Creative Director /  
Founder

中馬 和彦氏 KDDI(株) 事業創造本部 副本部長  
北島 惇起氏 GROVE 株式会社 代表取締役  
(テーマ)

デジタル以前と以後・ターゲットに届けるということ  
新たなテクノロジーの活用・アイデアの源泉  
クリエイティブの力



## 若手クリエイター向けデジタル関連セミナー

公益事業

デザイナー必須の Illustrator & Photoshop ですが、日々進化を続けており、日常で使っているデザイナーでも知らない機能など、その変化に対応してもらい、効率化を図りつつ、企画アイデア面に時間を割いてほしい、また今後避けては通れない AI のことを学んでほしく企画しています。

### Adobe Illustrator & Photoshop

#### - 最新機能とクラウドと人工知能 - Part1

開催日:2023年6月19日(金) ZOOM ウェビナー

申込者:222名

[https://www.too.com/fun/webinar/adobe-cc/2023oac06.html/field/oac06\\_mov/](https://www.too.com/fun/webinar/adobe-cc/2023oac06.html/field/oac06_mov/)

### Adobe Illustrator & Photoshop

#### - 最新機能とクラウドと人工知能 - Part2

開催日:2023年9月2日(金) ZOOM ウェビナー

申込者:225名



AI デモの一例

## 学生支援セミナー

公益事業

クリエイティブ業界を目指す学生さんに向けて、OAC 所属の若手クリエイターの皆さんと賛助会員のユウクリさんにご協力いただき開催いたしました。

### 教えて先輩! クリエイティブの仕事って面白いの?

開催日:2023年11月22日(水)

ZOOM ウェビナー

登壇者

(株)アドブレーション

大森 廉氏 (デザイナー兼モーショングラフィックス担当)

(株)エージー

秋山 剛志氏 (プランニングディレクター)

(株)東京アドデザイナーズ

水野 扶美氏 (プロデューサー)

(株)博報堂プロダクツ

山田ひかる氏 (デザイナー / UIUX デザイナー)

申込者数:130名



### 東京学生広告研究団体連盟 (東広連) 支援

公益事業

- 当協会委員会への学生参加・意見交換
- 同団体「第64回学生広告展」審査協力  
一次審査(OAC 会員社)  
本審査(OAC 事務局長)

## 学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会

専門学校より「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程」に基づく依頼。

## ◇ 学校関係者評価委員会

仙台デザイン&テクノロジー専門学校

2023年6月17日・2024年2月25日

溝川誠司 理事

日本電子専門学校 2023年7月10日

(株)ジェイスリー 木下 幸弘氏

東京デザイン専門学校 2024年2月14日

梶原 鉄也 理事

## ◇ 教育課程編成委員会

東京デザイン専門学校

2023年10月19日・11月22日

宇垣 恵一 専務理事

日本電子専門学校

2023年9月7日・2024年2月29日

(株)電通クリエイティブ X 田代 宏之氏

溝川 誠司 理事

(株)博報堂プロダクツ 西川 肇氏

町田デザイン&建築専門学校

2023年9月7日・2024年2月20日

(株)エージー 高橋 史倫氏

## ◇ (その他) 進級制作授業

日本電子専門学校

2023年9月25日・11月6日・12月11日

2024年1月22日・2月15日

(株)ジェイスリー 木下 幸弘氏

## ◇ (その他) ポートフォリオ講習

専門学校日本デザイナー学院

2024年2月21日

溝川 誠司 理事

クリエイターのワクワクは止まらない 2023  
カラダで創り出そう、クリエイティブ！

開催日：2023年11月10日

会場：虎ノ門ヒルズ

会員社の(株)Tooさんが主催する「design surf seminar」OACは3年連続オンラインでの登壇でしたが、今回は、リアルでの登壇。Tooさんより、参加型にしたいという要望もあり、ならばと「人間の進化や脳の発達」を根幹に置き、手を動かすこと、言語化すること、記憶すること、観察すること、周りの方とコミュニケーションすることなど、身体とクリエイティブの関係性について、学ぶのではなく、感じていただくセッションとしました。登壇者には(株)スタジオ・ユニの樋口牧子さん、(株)博報堂プロダクツ佐藤翔吾さんをお願いしました。佐藤さんには体操の振り付けもお願いしました。



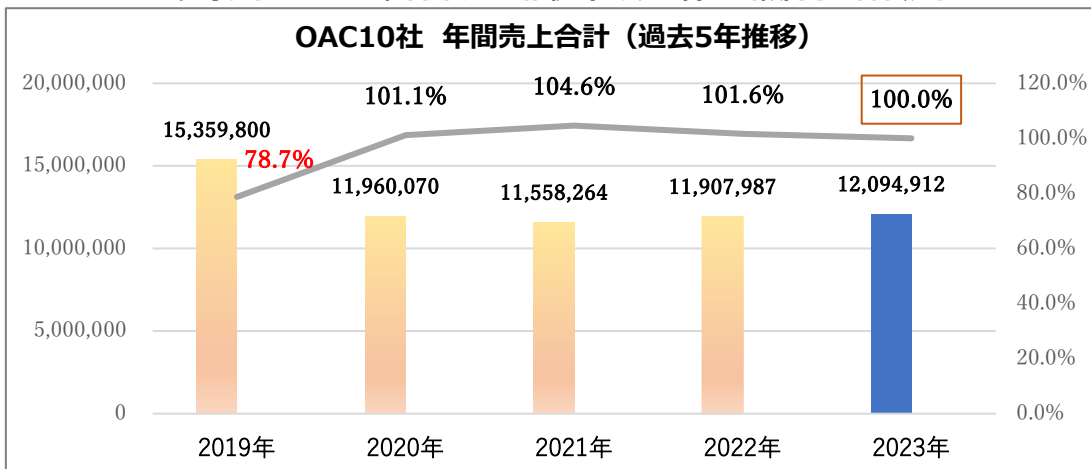
当日のまとめ

<https://global.too.com/dsurf-online/report/design-surf-seminar-2023/001217.html>

◇ セーフティネット5号保証調査への協力

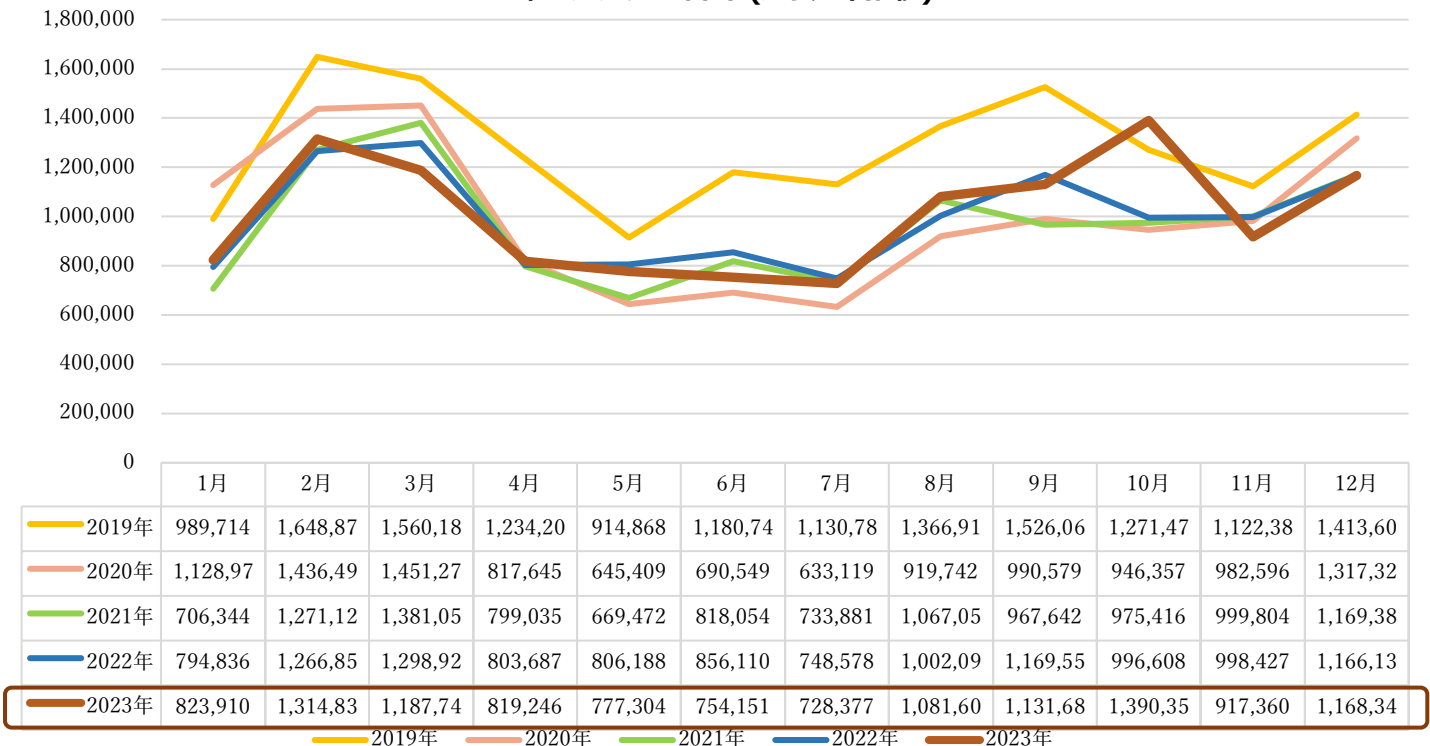
コロナ禍で経営状況業況の悪化している業種に対するの貸付を行うセーフティネット5号保証。当協会では日本標準産業分類（4151:広告制作業）において調査を実施。今期は四半期ごと4回実施。OACでは10社にご協力いただき、各月ごとの総額を算出。その数字を基準に、中小企業基盤整備機構による、各月の中小企業景況調査や物価に関する資料で得た指数を全国の制作会社（3000社と仮定）に乘じ、推計。その結果を経済産業省に提出。ご協力いただいている10社の皆さまには感謝申し上げます。

参考までに OAC10 社合計の売上推移（過去5年）にて傾向をご確認ください



上記グラフのパーセントは、2023年を基準に、各年との対比を表しています（2023年は2022年に比べ101.6%・・・2019年と比べると78.7%とでした。2020年以降では、若干ではありますが回復傾向）。

OAC10社 月別売上合計（過去5年推移）



## 情報交流

### 公益事業

広告関係 23 団体との情報交換に参加。オンラインでの開催が主でしたが、リアルでの開催も 3 年振りに行われました。

また、理事長自ら各団体の動向を探りつつ協力体制の樹立に向けて動き、(公社)日本アドバイザーズ協会(JAA)、(一社)日本アドコンテンツ制作協(JAC)、(公社)日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)・(公社)日本パッケージデザイン協会(JPDA)・(一社)Interactive Communication Experts (I.C.E.)等との情報交換を図り、今後に繋げる機会としました。

## 出版・広告

### 収益事業

### CREATOR2024 誌 発刊

今号の出稿会員社は、

- ◇ 記事体広告 26 社 <前号 27 社 | 社減>
  - ◇ 純広告 6 社 <前号 7 社 | 社減>
  - ◇ 個人クリエイター紹介頁 | 社<前号 | 社:増減なし>
- 今後も自社のブランディング向上とその周知に、お役立ていただければと思います。



## 会員企業相互の発展に向けて

### その他、公益事業

### 広告制作会社向け E&O 保険

現在 18 社の会員社が加入している E&O 保険 (Errors「過失」、Omissions「怠慢」の略)。本年度の事務手数料は 258,101 円となり、公益事業収入に割り振っています。

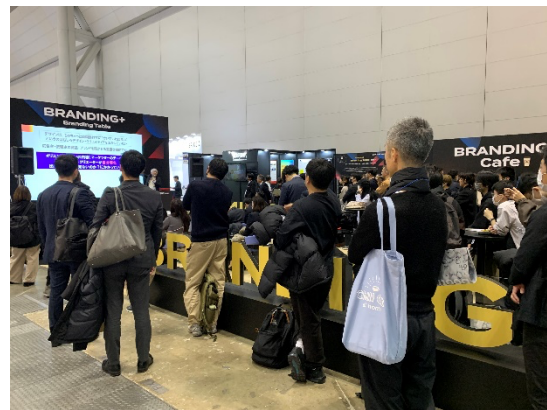
### コンテンツ東京 2023 後援

開催期間・場所

1. 2023 年 6 月 28 日(水)~30 日(金)
2. 2023 年 12 月 6 日(水)~8 日(金)

国際展示場(東京ビッグサイト)

12 月の開催では、BRANDING+コーナーで名久井理事長、たきコーポレーション、スパイスと OAC メンバーによる講演も行われました。



## 相談される制作会社であるために

名久井理事長 講演

開催日:2023年7月7日(金)

会場:(株)Too



5月の総会をもって就任した名久井理事長と会員社の皆さんが直接話し合える機会をと設けた講演会。「相談される制作会社であるために」と題し、今後のOAC、そして制作会社のあり方を考える機会となりました。

- マーケティングの時代。そこにデザイナーは彼らの上をいくイメージを表現し、言語化できるか。
- デザイン費が発生しない、デザインをサービスとする印刷会社もある。デザインの価値を理解させないといけない現実。
- 広告主・マーケッターが広告を学び、「デザイン思考」を学んでいる中、デザイナーはどうすべきか。
- 身近に迫るAI。変化し続け、予測出来ない未来にどう進んでいくべきか

このような時代の中、社会に役立つアイデアを持ち、依頼先の考えを凌駕し、対等に相談される存在であるために皆さんとともに進んでいきたい。

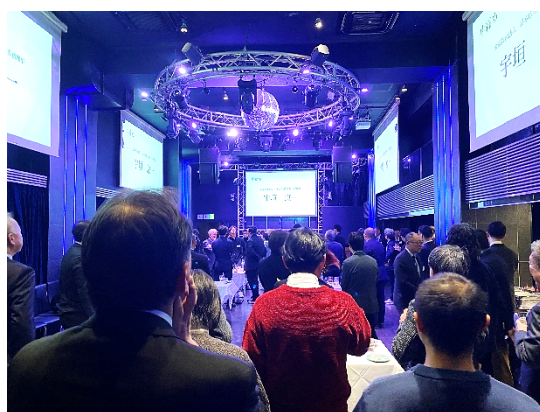
また、培ってきたグラフィックデザインには「一枚絵のチカラと言葉」があり、この力が無ければ映像でもデジタルでも伝わらないはず。この強みを生かし、「相談される制作会社」になっていきましょう。

## OAC 新年賀詞交歓会

開催日:2024年1月11日(木)

会場:グレースバリ銀座

2020年1月の開催後、コロナが発生。その後、開催を見合わせていたわけですが、4年振りの開催となりました。参加者がどれくらいになるか、なかなか読めませんでしたが、約100名の参加となりました。



初参加の方や若手のクリエイターの方のご参加もあり、久方ぶりに交流が図れた機会となりました。

この流れを、委員会活動や他の様々な事業に展開出来るようにしたいと、思った次第です。

【本年度、実施出来なかった収益等事業】

- 賃金実態調査

## 2023 年度 委員会・理事会 開催状況

	経営委員会	未来価値開発委員会	クリエイティブ委員会	広報委員会	理事会
時間帯	都度変更あり	18:00~19:00	17:00~18:00	都度変更あり	17:00~18:00
4月	4月18日(火)	4月11日(火)	4月13日(木)	4月19日(水)	4月20日(木)
5月	5月25日(木) 第35回定例総会 16時(OAC事務局&ZOOM) 理事会同日開催				
6月	6月21日(水)	6月13日(火)	6月15日(木)	6月7日(水)	6月22日(木)
7月	7月25日(火)	7月11日(火)	7月13日(木)	/	7月20日(木)
	7月7日(金) 理事長 名久井貴詞 講演『相談される 広告制作会社であるために。』会場：榎Too 17時				
8月	休会				
9月	9月26日(火)	9月5日(火)	9月7日(木)	予定	9月21日(木)
10月	10月24日(火)	10月3日(火)	10月5日(木)	/	/
11月	/	11月7日(火)	11月9日(木)	11月30日(木)	11月16日(木)
12月	12月12日(火)	12月5日(火)	12月7日(木)	/	12月14日(木)
2024年1月	OAC新年賀詞交換会 1月11日(木)				
	1月30日(火)	1月23日(火)	1月18日(木)	/	/
2月	2月20日(火)	2月6日(火)	2月8日(木)	/	2月15日(木)
3月	3月12日(火)	3月5日(火)	3月7日(木)	/	3月14日(木)

○ プロフェッショナル委員会：2024年2月28日(木)

○ PR委員会：2024年3月6日(水)

コロナが一段落した2023年ですが、オンラインや在宅勤務は定着傾向にあり、リアルを望む声はあるものの、やはりオンラインでの参加が多かったのが実際です。これに伴い、各委員会とも参加率が減少していることも、今後の課題です。

## 2023 年度決算報告及び監査報告 承認の件

貸借対照表	25
財産目録	26
正味財産増減計算書	27・28
正味財産増減計算書 内訳表	29・30
財務諸表に対する注記	31
附属明細書	32
事業報告附属明細書	33
監査報告	34



## 貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	17,918,751	20,119,108	△ 2,200,357
未収会費	120,000	120,000	0
前払費用	353,048	353,048	0
流動資産合計	18,391,799	20,592,156	△ 2,200,357
2. 固定資産			
1) 特定資産			
預り保証金特定預金	1,700,000	2,000,000	△ 300,000
退職給付特定預金	1,700,000	1,275,000	425,000
50周年事業特定預金	2,736,000	3,000,000	△ 264,000
2) その他固定資産			
敷金・保証金	2,000,000	2,000,000	0
固定資産合計	8,136,000	8,275,000	△ 139,000
資産合計	26,527,799	28,867,156	△ 2,339,357
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	6,711	0	6,711
未払費用	161,043	30,646	130,397
預り金	216,382	248,916	△ 32,534
流動負債合計	384,136	279,562	104,574
2. 固定負債			
退職給付引当金 (役員用積立額)	1,700,000	1,275,000	425,000
預り保証金	1,700,000	2,000,000	△ 300,000
固定負債合計	3,400,000	3,275,000	125,000
負債合計	3,784,136	3,554,562	229,574
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	22,743,663	25,312,594	△ 2,568,931
負債・正味財産合計	26,527,799	28,867,156	△ 2,339,357

# 財産目録

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量・内容等	使用目的等	金 額
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			( 17,918,751 )
	現金手許有高	運転資金として	73,501
	普通預金 みずほ銀行 赤坂支店	運転資金として	3,401,865
	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	税金取扱い口座として	326,913
	普通預金 三井住友銀行 赤坂支店	会費自動振替分として	13,116,472
	定期預金 みずほ銀行 銀座中央支店	運転資金として	1,000,000
未収会費			( 120,000 )
	2023年度会費 (正会員1社・賛助会員1社)	会費	120,000
前払費用			( 353,048 )
	銀座吉澤ビル賃料 (2024年4月分) 家賃		353,048
流動資産合計			18,391,799
2. 固定資産			
1) 特定資産			
預り保証金特定預金	定期預金 みずほ銀行 銀座中央支店	退会時返却用の預り金 (17社分)	( 1,700,000 )
退職給付特定預金	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	退職給付引当金口座として	( 1,700,000 )
50周年事業特定預金	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	50周年記念事業として	( 2,736,000 )
2) その他固定資産			
敷金・保証金	銀座吉澤ビル敷金・保証金	共用財産であり、公益事業に80%、 収益事業に10%、その他事業に3%、 法人管理運営費に7% を充てている	( 2,000,000 )
固定資産合計			8,136,000
資産合計			26,527,799
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金			( 6,711 )
	NTT電話料金 3月分		6,711
未払費用			( 161,043 )
	株大塚商会 3月分		22,553
	ヤマト運輸発送代 (6月分)		4,378
	社会保険料 (3月分)		134,112
預り金			( 216,382 )
	厚生年金保険料		40,260
	健康保険料		25,476
	所得税 (6月分)		117,540
	市区民税 (6月分)		19,600
	源泉所得税204条 (6月分)		13,506
流動負債合計			384,136
2. 固定負債			
退職給付引当金			( 1,700,000 )
			1,700,000
預り保証金			( 1,700,000 )
	正会員 (17社分)		1,700,000
固定負債合計			3,400,000
負債合計			3,784,136
正味財産合計			22,743,663

## 正味財産増減計算書

2023年4月1日～2024年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	91	25	66
特定資産運用益計	91	25	66
受取会費等			
正会員受取会費	14,090,000	15,330,000	△ 1,240,000
賛助会員受取会費	6,600,000	7,410,000	△ 810,000
新正会員受取入金	100,000	50,000	50,000
新正会員受取会費	360,000	60,000	300,000
新賛助会員受取会費	0	40,000	△ 40,000
受取会費等計	21,150,000	22,890,000	△ 1,740,000
事業収益			
広告料収益	3,344,000	3,410,000	△ 66,000
販売収益	1,000	1,000	0
事業収益計	3,345,000	3,411,000	△ 66,000
雑収益			
受取利息	224	235	△ 11
雑収益	804,450	1,845,802	△ 1,041,352
雑収益計	804,674	1,846,037	△ 1,041,363
経常収益計	25,299,765	28,147,062	△ 2,847,297
(2) 経常費用			
事業費			
1. 人件費			
役員報酬	4,845,000	4,845,000	0
給与手当	4,703,760	4,703,760	0
賞与	0	126,900	△ 126,900
法定福利費	850,333	798,938	51,395
人材派遣費(事務局1名)	2,843,995	2,709,074	134,921
役員退職金積立	403,750	403,750	0
人件費計	13,646,838	13,587,422	59,416
2. 事務所関係費			
家賃	3,770,554	3,770,554	0
水道光熱費	197,634	255,456	△ 57,822
事務所関係費計	3,968,188	4,026,010	△ 57,822
3. 諸費			
通勤交通費	529,985	376,582	153,403
会議費	307,869	38,000	269,869
会場費	364,000		
図書費	1,826	5,665	△ 3,839
旅費交通費	216,706	196,374	20,332
通信運搬費	178,461	147,496	30,965
事務消耗品費	239,889	272,224	△ 32,335
広告宣伝費	86,399	238,400	△ 152,001
印刷費	278,661	193,539	85,122
支払い手数料(ZOOM)	146,300	146,300	0
リース料	181,452	192,132	△ 10,680
諸謝金	448,877	259,411	189,466
諸会費(支払負担金)	60,000	60,000	0
委託費	2,294,600	2,340,800	△ 46,200
サイト運営費	1,511,349	1,511,349	0
修繕費	122,293	118,800	3,493
雑費	56,000	50,000	6,000
諸費計	7,024,667	6,147,072	877,595
事業費計	24,639,693	23,760,504	879,189

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費			
1. 人件費			
役員報酬	255,000	255,000	0
給与手当	300,240	300,240	0
		8,100	
法定福利費	54,277	50,995	3,282
人材派遣費	351,505	334,830	16,675
役員退職金積立	21,250	21,250	
人件費計	982,272	970,415	11,857
2. 事務所関係費			
家賃	466,022	466,022	0
水道光熱費	24,427	31,572	△ 7,145
事務所関係費計	490,449	497,594	△ 7,145
3. 諸費			
福利厚生費	0	36,907	△ 36,907
通勤交通費	33,829	24,036	9,793
		6,000	△ 6,000
図書費	72,380	70,400	1,980
旅費交通費	20,976	41,996	△ 21,020
通信運搬費	131,174	121,433	9,741
事務消耗品費	211,276	136,909	74,367
渉外費	0	17,600	△ 17,600
印刷費	4,920	7,640	△ 2,720
支払手数料	200,230	351,350	△ 151,120
支払報酬	873,381	873,864	△ 483
支払保険料	19,650	0	19,650
リース料	13,596	13,596	0
公租公課	72,900	72,450	450
修繕費	73,920	66,000	7,920
雑費	28,050	0	28,050
諸費計	1,756,282	1,803,274	△ 46,992
管理費計	3,229,003	3,271,283	△ 42,280
経常費用計	27,868,696	27,031,787	836,909
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,568,931	1,078,368	△ 3,647,299
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,568,931	1,078,368	△ 3,647,299
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計		0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,568,931	1,078,368	△ 3,647,299
当期一般正味財産増減額	△ 2,568,931	1,078,368	△ 3,647,299
一般正味財産期首残高	25,312,594	24,234,226	1,078,368
一般正味財産期末残高	22,743,663	25,312,594	△ 2,568,931
II 指定正味財産増減の部			
特定資産受取利息	91	55	36
特定資産運用益計	91	55	36
一般正味財産への振替額	91	55	36
一般正味財産への振替額計	△ 91	△ 55	△ 36
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	22,743,663	25,312,594	△ 2,568,931

# 正味財産増減計算書 内訳表

2023年4月1日～2024年3月31日まで

(単位:円)

科目	2023年度 実績	2023年度 予算	増減	2023年度公益目的事業		2023年度収益等事業			法人会計
				公1	(合計)	取1	共益	(合計)	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	91	0	91		0			0	91
特定資産受取利息	91	0	91		0			0	91
受取会費等 (※1)	21,150,000	23,230,000	△ 2,080,000	14,805,000	14,805,000	0	1,057,500	1,057,500	5,287,500
正会員受取会費	14,090,000	14,880,000	△ 790,000	9,863,000	9,863,000		704,500	704,500	3,522,500
賛助会員受取会費	6,600,000	7,380,000	△ 780,000	4,620,000	4,620,000		330,000	330,000	1,650,000
新正会員受取入会金	100,000	250,000	△ 150,000	70,000	70,000		5,000	5,000	25,000
新正会員受取会費	360,000	540,000	△ 180,000	252,000	252,000		18,000	18,000	90,000
新賛助会員受取会費	0	180,000	△ 180,000	0	0		0	0	0
事業収益合計	4,149,674	4,120,000	29,674	518,558	518,558	3,344,000	258,103	3,602,103	29,013
広告料収益合計	3,344,000	3,266,000	78,000	0	0	3,344,000	0	3,344,000	0
クリエイター2024 会員社頁掲載料	2,486,000	2,420,000	66,000		0	2,486,000		2,486,000	
クリエイター2024 広告掲載料	792,000	780,000	12,000		0	792,000		792,000	
OACサイトバナー広告	66,000	66,000	0		0	66,000		66,000	
受講料収入	0	180,000	△ 180,000		0	0	0	0	
経営委員会セミナー	0	180,000	△ 180,000		0	0	0	0	
販売収益	1,000	0	1,000	1,000	1,000	0	0	0	0
三陸鉄道カレンダー販売収益	1,000	0	1,000	1,000	1,000	0	0	0	
雑収入	804,674	674,000	130,674	517,558	517,558	0	258,103	258,103	29,013
受取利息	224		224		0			0	224
OAC総合賠償責任保険事務手数料	258,103	274,000	△ 15,897		0		258,103	258,103	
三陸鉄道カレンダー (パンフ印刷等)	41,258		41,258	41,258	41,258				
タクシー協会 協賛金	476,300	400,000	76,300	476,300	476,300			0	
WEBカメラ購入後の不具合返金 (2件)	28,789		28,789						28,789
【経常収益計】	26,299,765	27,350,000	△ 2,050,235	15,323,558	15,323,558	3,344,000	1,315,603	4,659,603	5,316,604
(2) 経常費用									
<事業費>									
人件費	13,646,838	13,311,510	335,328	13,282,674	13,282,674	182,082	182,082	364,164	0
役員報酬	4,845,000	4,845,000	0	4,845,000	4,845,000	0	0	0	
給料手当	4,703,760	4,703,760	0	4,503,600	4,503,600	100,080	100,080	200,160	
法定福利費	850,333	822,500	27,833	814,149	814,149	18,092	18,092	36,184	
人材派遣費	2,843,995	2,536,500	307,495	2,716,175	2,716,175	63,910	63,910	127,820	
役員退職金積立	403,750	403,750	0	403,750	403,750	0	0	0	
事務所関係費	3,968,188	3,969,400	△ 1,212	3,789,842	3,789,842	89,173	89,173	178,346	0
家賃	3,770,554	3,773,600	△ 3,046	3,601,090	3,601,090	84,732	84,732	169,464	
水道光熱費	197,634	195,800	1,834	188,752	188,752	4,441	4,441	8,882	
諸費	7,024,667	6,917,988	106,679	4,552,350	4,552,350	2,325,231	147,086	2,472,317	0
通勤交通費	529,985	441,988	87,997	507,433	507,433	11,276	11,276	22,552	
会議費 (※「メーカー・タリタ」・他団体合参加)	307,869	20,000	287,869	307,869	307,869				
会場費 (2024.5月ヒカリエ展示会場費)	264,000	395,000	△ 131,000	264,000	264,000				
会場費 (賀詞交歓会会場費)	100,000	0	100,000		0		100,000	100,000	
図書費	1,826	0	1,826	1,826	1,826				
旅費交通費	216,706	260,000	△ 43,294	203,564	203,564		13,142	13,142	
通信運搬費	178,461	136,000	42,461	175,773	175,773	2,688		2,688	
事務消耗品費	239,889	190,960	48,929	239,889	239,889				
広告宣伝費	86,399	149,000	△ 62,601	86,399	86,399				
渉外費	0	30,000	△ 30,000		0				
印刷費	278,661	363,000	△ 84,339	278,661	278,661				
支払手数料 (OAM:ウエビナー用含む)	146,300	146,300	0	146,300	146,300				
リース料	181,452	208,740	△ 27,288	154,234	154,234	13,609	13,609	27,218	
諸謝金	448,877	410,000	38,877	448,877	448,877				
諸会費	60,000	60,000	0	60,000	60,000				
委託費 (クリエイター誌 編集・発刊)	2,294,600	2,240,000	54,600		0	2,294,600		2,294,600	
修繕費	122,293	207,000	△ 84,707	116,176	116,176	3,058	3,059	6,117	
サイト運営費	1,511,349	1,470,000	41,349	1,511,349	1,511,349				
雑費	56,000	190,000	△ 134,000	50,000	50,000		6,000	6,000	
事業費計	24,639,693	24,198,898	440,795	21,624,866	21,624,866	2,596,486	418,341	3,014,827	0

(単位:円)

科目	2023年度 実績	2023年度 予算	増減	2023年度公益目的事業		2023年度収益等事業			法人会計
				公1	(合計)	収1	共益	(合計)	
管理費									
人件費	982,272	942,490	39,782	0	0	0	0	0	982,272
役員報酬	255,000	255,000	0		0			0	255,000
給与手当	300,240	300,240	0		0			0	300,240
法定福利費	54,277	52,500	1,777		0			0	54,277
人材派遣費	351,505	313,500	38,005		0			0	351,505
役員退職金積立	21,250	21,250	0		0			0	21,250
事務所関係費	490,449	490,600	△151	0	0	0	0	0	490,449
家賃	466,022	466,400	△378		0			0	466,022
水道光熱費	24,427	24,200	227		0			0	24,427
諸費	1,756,282	1,718,012	38,270	0	0	0	0	0	1,756,282
福利厚生費	0	30,000	△30,000		0			0	0
通勤交通費	33,829	28,212	5,617		0			0	33,829
図書費	72,380	75,000	△2,620		0			0	72,380
旅費交通費	20,976	0	20,976		0			0	20,976
通信運搬費	131,174	184,800	△53,626		0			0	131,174
事務消耗品費	211,276	99,600	111,676		0			0	211,276
渉外費	0	33,800	△33,800		0			0	0
印刷費	4,920	10,000	△5,080		0			0	4,920
支払手数料	200,230	230,000	△29,770		0			0	200,230
支払報酬	873,381	874,000	△619		0			0	873,381
支払保険料	19,650	0	19,650		0			0	19,650
リース料	13,596	13,600	△4		0			0	13,596
公租公課	72,900	73,000	△100		0			0	72,900
修繕費	73,920	66,000	7,920		0			0	73,920
雑費	28,050	0	28,050		0			0	28,050
管理費計	3,229,003	3,151,102	77,901	0	0	0	0	0	3,229,003
【経常費用計】	27,868,696	27,350,000	518,696	21,624,866	21,624,866	2,596,486	418,341	3,014,827	3,229,003
*事業比率	100%				77.6%	9.3%	1.5%	10.8%	11.6%
【評価損益等調整前当期経常増減額】	△2,568,931	0	△2,568,931	△6,301,308	△6,301,308	747,514	897,262	1,644,776	2,087,601
【評価損益等計】									
【当期経常増減額】	△2,568,931	0	△2,568,931	△6,301,308	△6,301,308	747,514	897,262	1,644,776	2,087,601
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額計(※2)	0			822,388	822,388	△373,757	△448,631	△822,388	0
【当期一般正味財産増減額】	△2,568,931		△2,568,931	△5,478,920	△5,478,920	373,757	448,631	822,388	2,087,601
一般正味財産期首残高	25,312,594	24,234,226	1,078,368	△27,738,849	△27,738,849	△1,675,434	6,719,190	5,043,756	48,007,687
【一般正味財産期末残高】	22,743,663	25,312,594	△2,568,931	△33,217,769	△33,217,769	△1,301,677	7,167,821	5,866,144	50,095,288
II 指定正味財産増減の部									
特定資産運用益計	91								91
特定資産受取利息	91								91
一般正味財産への振替額計	△91								△91
特定資産受取利息 振替額	△91								△91
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【指定正味財産期首残高】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【指定正味財産期末残高】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	22,743,663	25,312,594	△2,568,931	△33,217,769	△33,217,769	△1,301,677	7,167,821	5,866,144	50,095,288

会費の割振り(※1)	21,150,000
公益事業	70% 14,805,000
収益事業	0% 0
共益事業	5% 1,057,500
法人会計	25% 5,287,500

## 【他会計振替額について】(※2)

他会計振替額は、収益・共益事業の当期経常増減額  
(収益事業747,514円・共益事業897,262円：合計1,644,776円)  
の各々50% (合計822,388円) を公益事業に振替えています。

## 事業比率について

公益目的事業77.6%・収益等事業10.8%  
法人会計11.6%となりました。

## 財務諸表に対する注記

---

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に基づく旧定率法及び定率法を採用しております。

#### (2) 引当金の計上基準

賞与引当金 …………… 職員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち  
当期負担分を計上しております。

退職給付引当金 …………… 職員の退職に備えるため、期末要支給額の全額を計上して  
おります。

#### (3) 消費税等の会計処理税込方式によっております。

### 2. 指定正味財産から一般正味財産への振替額について

特定預金口座の利息額 91 円を振替えています。

### 3. 特定資産の増減額及びその残高

次頁の附属明細書のとおりであります。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
特定資産	退職給付特定預金	1,275,000	425,000	0	1,700,000
	預り保証金特定預金	2,000,000	0	300,000	1,700,000
	50周年事業特定預金	3,000,000	0	264,000	2,736,000
特定資産合計		6,275,000	425,000	564,000	6,136,000

※ 預り保証金特定預金:2003年3月以前に入会された正会員は入会に関する保証金として10万円を預かり退会時返金することになっており、2023年度は(株)ジェイスリーが正会員から賛助会員へ移行、(株)インクポイント、C. C. (株)レマンの退会、以上3社への返金。

※ 50周年事業特定預金の減少額は、展覧会「未来を拓くニッポン・デザイン」展の会場費、ヒカリエへの支払額。

### 2. 特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対する額
退職給付特定預金	1,700,000	0	1,700,000	1,700,000
預り保証金特定預金	1,700,000	0	1,700,000	1,700,000
50周年事業特定預金	2,736,000		2,736,000	2,736,000
特定資産合計	6,136,000	0	6,136,000	6,136,000



## 事業報告附属明細書

➤ **正味財産増減計算書（内訳表）会費の振り分けに関して**

本年度も昨年度に引き続きコロナ禍での運営となりました。

本年度も、公益目的事業での実質費用は昨年度とほぼ同等となり、会費の振り分けは昨年同様の以下の通りとした。

公益目的事業 70%（前年度:70%）

共益目的事業 5%（前年度:5%）

法人会計 25%（前年度:25%）

➤ **正味財産増減計算書（内訳表）費用配布割合に関して**

公益法人では費用項目を公益目的事業・収益等事業・法人会計に按分して記載（人件費等はその事業への従事した割合・家賃等はその事業に使用している割合・そしてある事業に直接関連するものは直接費用）としています。本年度も配布割合は昨年同様とし、以下のように按分いたしました。

		公益目的事業	収益等事業	共益事業	法人会計	
人 件 費	専務理事	95%	0%	0%	5%	従事割合
	事務局長	90%	2%	2%	6%	従事割合
	派遣:経理・総務	85%	2%	2%	11%	従事割合
家賃	家賃・光熱費	85%	2%	2%	11%	使用割合
	通勤交通費	90%	2%	2%	6%	従事割合

※リース料は従来の割合を踏襲し、その他の費用は、ある事業に関連した直接対応費用となっています。

➤ **会費収入の大幅な減少により赤字決算へ**

2023 年度会費収入は、21,150,000 円（対予算比:91% △2,080,000 円）・（対前年度比:92% △1,740,000 円）。経営難等により経費削減などが相次いだ年となりました。この現実を受け止め、2024 年度は更に魅力ある組織へと変革し会員増強に向かいます。

➤ **予算より増加した費用に関して**

会議費:経営委員会セミナー等で会場参加者と講師の方の交流を図りたく、ケータリングを用意(7回)。

その他、他団体との交流会参加費。リアルに切り替えた結果ですが、コロナの影響がどこまでか読み切れない部分もありました。

人材派遣費:週3日を基本としているものの、事務局事情により出社日を増やし対応に当たっていました。

事務消耗品(管理費):オンライン環境の整備で、カメラ・マイクなどの購入。

通勤交通費:理事長は無報酬ですが、理事会・委員会・セミナー等行事での交通費のみ実費精算。

# 監査報告

公益社団法人 日本広告制作協会  
理事長 名久井 貴詞 殿

2024 年 4 月 18 日

公益社団法人 日本広告制作協会  
監事 田村 壽孝



監事 村上 健



私たちは、2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの 2023 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

## 1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

## 2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告の内容は正しく記載されていると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

## 2024 年度 事業計画

### 公益社団法人 日本広告制作協会（OAC）

#### 運営方針

##### ➤ 相談される制作会社、相談されるOACへ

OAC は今年 50 周年を迎えました。

節目の年にあたりますが、コロナ禍を経た昨年 2023 年度は経営難を主な理由に当協会を退会される会員社が続出しました。コロナ禍でデジタルシフトが進み、それに対応出来なかったケース、仕事で取り組んでいた業種の売上の減少など、様々な事情があったかと思えます。この状況を受け、変化に柔軟に対応できる今後の制作会社のあり方を模索し、その支援に努めてまいります。また、このような状況だからこそ「デザインの価値」を高め、会員社の「社」社が、多くの企業や自治体などから「相談される制作会社」存在へと変革する好機だと捉えます。そして当協会としても、全国の制作会社とのネットワークを構築し「制作会社から相談される協会」、そして「企業や自治体の相談窓口としての協会」へと変革を目指します。そして社会に貢献できるよう、新たな 50 年を見据えた展開に努めます。

##### ➤ デザインの価値を高め、その価値を発揮する人材を育成する

「相談される制作会社、協会」を継続していくためにも、次世代経営幹部、若手クリエイター、そして今後この業界に入ってくる学生の育成に注力していきます。

#### 課題解決力の向上

ともすれば、若い時代は感覚や感性に視点が行きがち。しかし課題を確実に捉え、その意味合いを探り、何が企業・自治体・そして生活者にとって有益なのかを考えること。自分事化し言語化できる存在になってほしいと考えます。これは、デジタルだろうが、グラフィック、映像、その他の新たな分野を問わず共通しています。また、次世代の経営幹部の方も、同様に課題を見据え、社員が働きやすい環境をどう構築していくべきか、考える場を設けていきたいと思えます。

#### アウトプットの表現力向上

課題解決力の向上に努めた上で、アウトプットの表現力向上にも努めていただきます。

この実現に向け、セミナーの開催や若手同士の話し合いの場で刺激が得られる機会を設けていきます。

本年度行う各事業とも、この方針に沿って実施してまいります。

## 2024 年度方針を実施・運営していく体制について

各委員会は連動し、運営してまいります。

### 相談される OAC（コンサル活動）

理事会メンバーを中心に、全会員社が関わる活動とする。クリボラ事業でも、三陸鉄道やタクシー協会などと組み事業を展開してきたが、今後はその範囲を自治体や、中小企業などへと広げ、地域社会に関わる皆さんの健全な発展、公正かつ自由な経済活動の機会の確保及び活性化につなげることを目的とし、その相談窓口となり、その活動支援に向かう。

### クリボラ委員会（旧クリエイティブ委員会）

従来のクリエイティブのチカラで社会貢献する事業を更に進め、クリエイターの価値、デザインの価値を社会に広めることを目的とする。また若手クリエイターの参加を促し、既に行っている事業はもとより、社会課題の解決のための勉強会等を行い、その実践に努める。

### 経営委員会

コロナ禍での経験を踏まえ、より柔軟に変化に対応できる会社経営に役立つセミナーや勉強会を実施。今後の制作会社のあり方、社員が働きやすい環境整備など、現在の経営者はもとより若手の経営幹部への参加を促し、より良い経営をデザインする場を設ける。

### 次世代育成委員会（旧未来価値開発委員会）

若手クリエイターが参加しやすく、交流できる場を創ることは今後の OAC には欠かせない。この観点から、本委員会では若手クリエイターがデザイン思考を深め、そのアウトプットに関わる様々なスキルを向上させる場や闊達な意見交換の場を設ける。加えて本業界の今後を担う学生の支援に努める。

### プロフェッショナル委員会（新設）

誰もがデザインや映像を扱う時代。そんな時代のプロフェッショナルとは何だろう。プロに依頼すると本当に結果は違うのか。我々は本来の意味でのプロフェッショナルなのだろうか。その意味合い・今後のプロフェッショナルのあり方を探る。また、その情報を各委員会、全会員社に伝え、今後の道標としたい。

### PR 委員会（旧広報委員会）

全国の制作会社とネットワークを築き上げ、共に「デザインの価値」・「クリエイターの価値」を高めたい。それを実現すべく、全国の制作会社へのアンケートの実施などで会社経営やデザインのあり方についてなどの有益な情報を共有し、フィードバック。信頼を構築していく。その上で、当協会の価値も高めていくことを目的とする。各事業のリリースも従来通り行いが、それをもって「相談される協会」としての位置づけを確保する。

## 【各事業内容について】

クリエイティブ・デザインのチカラで、日本を元気に。クリエイター自身を元気に！

— デザインの価値を高め、社会に発信するクリボラ事業（公益事業） —

### 1. 未来を拓くニッポン・デザイン展（OAC50周年記念事業）

開催日：2024年5月17日（金）～19日（日）

会場：渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT

デザインは文化を創出し、文化は価値を生み出し、価値が未来を創ります。

デザインが持つ大きな役割と価値を改めて社会に示すために、ニッポンの魅力とチカラを深く、そして幅広く「デザイン視点」から再発見した作品を展示いたします。

なお、費用は積立していた特定費用準備資金にて賄います。

### 2. 三陸鉄道ならびに沿岸市町村支援カレンダー制作

（三陸鉄道イーハトーブカレンダー2025）

岩手県を主要株主とする第三セクター方式の三陸鉄道。本年も三陸鉄道ならびに、その沿線各地の地域活性化と観光促進を目的に支援を継続いたします。今回も昨年に引き続き宮沢賢治の詩や童話のフレーズをテーマに作品を公募。宮沢賢治の世界観と現代の三陸ならびに岩手を融合させ、より岩手・三陸への観光に結び付く内容を目指します。

### 3. 「一行タクシー」（東京ハイヤー・タクシー協会とのコラボレーション）

タクシーの車体にタクシーへの共感を醸成する一行のコピーをラッピングし、東京の街を走る。2019年に初実施以来、コロナ禍の中止期間はあったものの、2022年、2023年と3回実施しています。2024年の実施は東京ハイヤー・タクシー協会内で検討中も、「一行タクシー」の継続を念頭に計画しているようです。なお、実施の際は、よりタクシーを使用したくなる施策を検討します。

### 4. 相談されるOAC（コンサル活動）

三陸鉄道やタクシー協会、また銭湯組合などと組み事業を展開していますが、今後はその範囲を自治体や、中小企業などへと広げ、その相談窓口となることを目指します。

地域社会に関わる皆さんの健全な発展、公正かつ自由な経済活動の機会の確保及び活性化につなげることを目的とし、その活動支援に向かいます。今期は、当協会の活動実績（デザインの価値など）などを全国の自治体や商工会議所などへ広くアピールし、「相談・助言」ならびに、実際の活動施策の実施に向かいます。

また、担当委員会にて社会課題をピックアップし、何が出来るか検討・提案できるよう、模索してまいります。

## 5. 第8回 想いを伝えるカードデザイン大賞 2024

コミュニケーションのあり方をいま一度見直そうと始めたカードデザイン大賞は8回目を迎えます。広告も商品や企業の想いを伝え、購買やファンになっていただくための活動ですが、その考え方を学ぶキッカケにしてもらいたいと考えています。学生や一般の方の参加が多いのですが、プロのデザイナー方も共感をもって伝える、伝わる作品をお待ちいたします。

## 6. 第13回 OAC 学生広告クリエイティブアワード 2024

学生を対象にした本アワードは、課題解決力の向上を目的に、実際の企業より課題をいただき実施しています。各企業の課題の本質を探り、それをどう表現するか。残念ながら課題の意味合いを捉えきれず、見た目のレイアウトに注力する部分が多いようです。本アワードを通じ、学生時代より課題解決の思考を学んでもらいたいと思います。

## 7. 第13回 OAC 学生アイデアで社会をよりよくするコンテスト

自ら課題を考え、自らその課題解決策を考える。そんなクリエイティブな行為を若いうちから実践してもらい、今後に役立ててもらいたい。本主旨が、教育現場のニーズに当てはまり、学校の授業としても取り上げられているようです。

基本的には、学生個人が自ら考え、取り組むこと自体が重要と考えていますが、アイデアを採用しその実現に向けた展開は出来ないか等、本年はよく吟味していきます。

健全で変化に柔軟に対応できる経営と、次世代の人材育成を目指して！

— 社会に貢献できる組織・人材の育成のための研修・調査事業等（公益事業） —

#### 1. 経営セミナー・勉強会の実施

コロナ禍でのデジタルシフト、グラフィック業務の減少等にて売上の確保が難しい状況が続きました。この経験を踏まえ、より柔軟に変化に対応できる会社経営と今後の制作会社のあり方を探っていきます。現在の経営者はもとより若手の経営幹部への参加を促し、より良い経営をデザインするセミナーや勉強会の場を設け、経営上の課題解決に向かいます。

#### 2. 若手クリエイター（学生）がデザインや課題の本質を学ぶセミナー・勉強会の実施

仕事を作業にさせないこと。今後 AI が更に進化し、業務効率は今以上に改善されるでしょう。そんな時代に求められるのは、様々な課題を解決に導くアイデアや発想力、提案力だと思われます。この実現のために若手クリエイターの今後に役立つセミナーや勉強会を実施し、課題解決力の向上を目指します。

#### 3. 若手クリエイターを中心としたアウトプットのためのスキルアップセミナー開催

これまでも人気の高い Illustrator・Photoshop の最新機能・作業効率アップや動画編集を中心に、メタバースや AI、デジタルマーケティングの実際など、最新情報を学ぶ場を設けます。上記デザインや課題の本質を学ぶセミナー・勉強会で得た知識をアウトプットの表現面でのスキルアップ向上を目指します。

#### 4. 若手クリエイターを中心とした「CREATOR FEST」の開催

学び、スキルアップし、そして自分の幅を広げるためにも、他者の考え方に刺激を受ける場も必要です。多忙な日常から少し離れ、会社の中だけでは得られない知識や新たな発見と出会う場として、コロナ以前に実施していた「CREATOR FEST」を復活。会員社はもとよりクリエイティブ業界で働く若手クリエイターに呼びかけ、「集い、話すことによって生まれる価値」を体験する機会を創出します。

#### 5. デザイナー等今後のプロフェッショナルのあり方を考える

（一般公開のディスカッション・交流会形式等を模索）

誰もがデザインや映像をつくる時代。そんな時代のプロフェッショナルとは何だろう。デザインの価値を高めていくためにも、創るクリエイターや制作会社が一般の方々とは異なり、真の意味でのプロフェッショナルであるべきと考えます。それには何が必要なのか。討議・検討を重ね、ここで出た内容を全会員社はもとより、学校関係者にも伝え、今後の人材育成や採用に関しての一つの指針なるよう努めます。

## 6. 全国の制作会社とネットワーク構築（アンケート調査の実施）

「デザインの価値」・「クリエイターの価値」を高めていくためにも、全国の制作会社と想いを共有したい。それを実現すべく、全国の制作会社へのアンケートに実施などで会社経営やデザインのあり方等、制作会社として共通の課題となる設問を通し、その情報をフィードバックし共有していく。また、全国の制作会社にとっても役立つ存在となるよう努めていきます。なお当協会は、コロナ発生以降経済産業省の「セーフティネット5号業況調査」に協力し、会員社よりいただいた売上の推移を調査し、それを元に全国の制作会社の売上を推計して提出しています。全国の「広告制作業」の今後を考え、毎年四半期毎に調査を行っていますが、このことをアピールしているわけではないので、制作会社の方々は知らないと思われます。これを機に全国の制作会社に当協会の存在をアピールし、且つ全国の制作会社から「相談できる協会（OAC）」としての意義を感じてもらえるよう努めます。

## 7. 学生（学校）支援活動

就活生への一助として、業界や仕事内容を知ってもらうために、若手クリエイターによるパネルディスカッションを開催してきました。本年もその継続や、大学生に向けたポートフォリオ講座の実施・検討など、学校内では得られ難いこと等、学校関係者の皆さんと共に考え、支援していこうと思います。

また、必要に応じ「学校と制作会社の情報交換会」、横の繋がりが薄いと言われる「専門学校同士の情報交換会」など、行ってまいります。

## 8. 講師派遣・学生広告団体（東広連）支援

専門学校の学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会への参加。ならびに講師派遣依頼への対応を行います。また、東京学生広告研究団体連盟（東広連）活動の支援（ワークショップやセミナーの開催）ならびに同団体の学生広告展の審査協力を行ってまいります。

## 9. 広告関係団体との情報交換

広告関係団体との情報交換を行い、共に「デザイン・クリエイティブの価値」を高めていけるよう、想いを同じくする団体とのネットワーク化を推し進めます。

また、情報交換で得た有益な情報は会員社を中心に共有に努めます。



## 会員企業相互の発展のために

### 1. CREATOR2025 誌の監修 (収益事業)

毎年12月に宣伝会議社より発刊しているCREATOR誌の監修。自社ブランディングを捉え直す機会として、そして自社をアピールする機会として会員各社にとっては貴重な場となっていると思います。また学生にとっては制作会社を知るために、そしてクライアントサイドはパートナー探しのための情報源として活用されています。今年度はCREATOR2025として発刊を予定し、内容のより一層の充実を図ります。

また、全国の制作会社へのネットワーク化により、本誌への参加も併せて呼びかけていこうと思います。

### 2. E&O 保険の継続 (共益事業)

E&OとはErrors「過失」、Omissions「怠慢」の略語で、職務の遂行上の過失や怠慢によって顧客等の第三者に経済的な損害を与えた事に起因し、法律上の賠償責任を負う事によって生じた損害を補償します。OAC独自の本保険は、主にデータ入力ミスや著作権に関して活用され、現在18社の会員社が加入。新たに参加を検討される方は事務局までお問い合わせください。

# 2024年度予算 収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

2024年4月1日～2025年3月31日まで

(単位：円)

科目	2024年度 予算	2023年度 予算	増減	2024年度公益目的事業		2024年度収益等事業			法人会計
				公1	(合計)	収1	共益	(合計)	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費等	22,030,000	23,230,000	△ 1,200,000	15,421,000	15,421,000	0	1,101,500	1,101,500	5,507,500
正会員受取会費	13,560,000	14,880,000	△ 1,320,000	9,492,000	9,492,000		678,000	678,000	3,390,000
賛助会員受取会費	6,300,000	7,380,000	△ 1,080,000	4,410,000	4,410,000		315,000	315,000	1,575,000
新正会員受取入会金	1,120,000	250,000	870,000	784,000	784,000		56,000	56,000	280,000
新正会員受取会費	990,000	540,000	450,000	693,000	693,000		49,500	49,500	247,500
新賛助会員受取会費	60,000	180,000	△ 120,000	42,000	42,000		3,000	3,000	15,000
事業収益合計	4,040,000	4,120,000	△ 80,000	620,000	620,000	3,166,000	254,000	3,420,000	0
広告料収益合計	3,166,000	3,266,000	△ 100,000	0	0	3,166,000	0	3,166,000	0
CREATOR2025 会員社頁掲載料	2,308,000	2,420,000	△ 112,000		0	2,308,000		2,308,000	
CREATOR2025 広告掲載料	792,000	780,000	12,000		0	792,000		792,000	
QACサイトバナー広告	66,000	66,000	0		0	66,000		66,000	
参加・受講料収入	150,000	180,000	△ 30,000	150,000	150,000				0
CREATOR FEST等	150,000	180,000	△ 30,000	150,000	150,000				
雑収益	724,000	674,000	50,000	470,000	470,000	0	254,000	254,000	0
タクシー協会 協賛金	470,000	400,000	70,000	470,000	470,000				
QAC総合賠償責任保険 事務手数料	254,000	274,000	△ 20,000		0		254,000	254,000	0
【経常収益計】	26,070,000	27,350,000	△ 1,280,000	16,041,000	16,041,000	3,166,000	1,355,500	4,521,500	5,507,500
(2) 経常費用									
<事業費>									
人件費	12,467,470	13,311,510	△ 844,040	11,884,200	11,884,200	169,760	413,510	583,270	0
役員報酬	4,275,000	4,845,000	△ 570,000	4,050,000	4,050,000		225,000	225,000	
給料手当	4,478,160	4,703,760	△ 225,600	4,287,600	4,287,600	95,280	95,280	190,560	
法定福利費	821,560	822,500	△ 940	786,600	786,600	17,480	17,480	34,960	
人材派遣費	2,536,500	2,536,500	0	2,422,500	2,422,500	57,000	57,000	114,000	
役員退職金積立	356,250	403,750	△ 47,500	337,500	337,500	0	18,750	18,750	
事務所関係費	3,969,400	3,969,400	0	3,791,000	3,791,000	89,200	89,200	178,400	0
家賃	3,773,600	3,773,600	0	3,604,000	3,604,000	84,800	84,800	169,600	
水道光熱費	195,800	195,800	0	187,000	187,000	4,400	4,400	8,800	
諸費	6,543,600	6,917,988	△ 374,388	4,239,150	4,239,150	2,192,225	112,225	2,304,450	0
通勤交通費	413,600	441,988	△ 28,388	396,000	396,000	8,800	8,800	17,600	
会議費（セミナーケータリング等）	236,000	20,000	216,000	236,000	236,000			0	
会場費	200,000	395,000	△ 195,000	200,000	200,000			0	
旅費交通費	307,000	260,000	47,000	307,000	307,000			0	
通信運搬費	271,000	136,000	135,000	271,000	271,000			0	
事務消耗品費	189,000	190,960	△ 1,960	189,000	189,000			0	
広告宣伝費	80,000	149,000	△ 69,000	80,000	80,000			0	
渉外費（慶弔等）	30,000	30,000	0		0		30,000	30,000	
印刷費	234,000	363,000	△ 129,000	234,000	234,000			0	
支払手数料（ZOOM）	45,000	146,300	△ 101,300	45,000	45,000			0	
リース料	89,000	208,740	△ 119,740	89,000	89,000			0	
諸謝金（アワード副賞）	140,000	410,000	△ 270,000	140,000	140,000			0	
諸謝金（講師料）	380,000	(上記含む)	380,000	380,000	380,000			0	
諸会費	60,000	60,000	0		0		60,000	60,000	
委託費	2,170,000	2,240,000	△ 70,000		0	2,170,000		2,170,000	
修繕費	179,000	207,000	△ 28,000	152,150	152,150	13,425	13,425	26,850	
サイト運営費	1,470,000	1,470,000	0	1,470,000	1,470,000			0	
雑費（東広連協賛）	50,000	190,000	△ 140,000	50,000	50,000			0	
事業費計	22,980,470	24,198,898	△ 1,218,428	19,914,350	19,914,350	2,451,185	614,935	3,066,120	0

(単位：円)

科目	2024年度 予算	2023年度 予算	増減	2024年度公益目的事業		2024年度収益等事業			法人会計
				公1	(合計)	収1	共益	(合計)	
<管理費>									
人件費	895,530	942,490	△ 46,960	0	0	0	0	0	895,530
役員報酬	225,000	255,000	△ 30,000		0			0	225,000
給料手当	285,840	300,240	△ 14,400		0			0	285,840
法定福利費	52,440	52,500	△ 60		0			0	52,440
人材派遣費	313,500	313,500	0		0			0	313,500
役員退職金積立	18,750	21,250	△ 2,500		0			0	18,750
事務所関係費	490,600	490,600	0	0	0	0	0	0	490,600
家賃	466,400	466,400	0		0			0	466,400
水道光熱費	24,200	24,200	0		0			0	24,200
諸費	1,703,400	1,718,012	△ 14,612	0	0	0	0	0	1,703,400
福利厚生費	0	30,000	△ 30,000		0			0	0
通勤交通費	26,400	28,212	△ 1,812		0			0	26,400
図書費	75,000	75,000	0		0			0	75,000
通信運搬費	175,000	184,800	△ 9,800		0			0	175,000
事務消耗品費	115,000	99,600	15,400		0			0	115,000
渉外費	0	33,800	△ 33,800		0			0	0
印刷費	0	10,000	△ 10,000		0			0	0
支払手数料	226,000	230,000	△ 4,000		0			0	226,000
支払報酬	874,000	874,000	0		0			0	874,000
リース料	14,000	13,600	400		0			0	14,000
公租公課 (23年10月からのインボイス消費税含む)	132,000	73,000	59,000		0			0	132,000
修繕費	66,000	66,000	0		0			0	66,000
管理費計	3,089,530	3,151,102	△ 61,572	0	0	0	0	0	3,089,530
【経常費用計】	26,070,000	27,350,000	△ 1,280,000	19,914,350	19,914,350	2,451,185	614,935	3,066,120	3,089,530
【評価損益等調整前当期経常増減額】	0	0	0	△ 3,873,350	△ 3,873,350	714,815	740,565	1,455,380	2,417,970
基本財産評価損益等									
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
有価証券評価損益等									
【評価損益等計】									
【当期経常増減額】	0	0	0	△ 3,873,350	△ 3,873,350	714,815	740,565	1,455,380	2,417,970
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期一般正味財産増減額】	0	0	0	△ 3,873,350	△ 3,873,350	714,815	740,565	1,455,380	2,417,970
【一般正味財産期首残高】	22,744,104	25,312,594	△ 2,568,490						
【一般正味財産期末残高】	22,744,104	22,744,104	0	△ 3,873,350	△ 3,873,350	714,815	740,565	1,455,380	2,417,970
II 指定正味財産増減の部									
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0						
【指定正味財産期首残高】	0	0	0						
【指定正味財産期末残高】	0	0	0						
III 正味財産期末残高	22,744,104	22,744,104	0						

- 公益目的事業比率： 76.4% (公益目的事業の費用計/経常費用計)
- 収益等事業比率： 11.8% (収益目的事業の費用計/経常費用計)
- 法人会計比率： 11.8% (法人会計の費用計/経常費用計)

**未来を拓く「緑」のデザイン展 (5月17日 (金) ~19日 (日) 渋谷区I8F) に事業ついて**  
 本事業は50周年事業特定預金 (特定費用準備資金) にて積立していた300万円から費用を取崩し、使用いたします。決算時の正味財産増減計算書には、その費用が加算されます。

2024 年度 委員会・理事会日程（予定）

	経営 委員会	次世代 育成委員会	クリボラ 委員会	PR 委員会	プロフェッ ショナル 委員会	理事会
時間帯	17時～18時	18時～19時	17時～18時	16時～17時	17時～18時	17時～18時
4月	16日 (火)	9日 (火)	11日 (木)	18日 (木)	22日 (月)	18日 (木)
5月	未来を拓くニッポン・デザイン展 渋谷ヒカリエ8F 17日(金)～19日(日)					
	総会 5月30日(木) 16時					
6月	18日 (火)	4日 (火)	6日 (木)	12日 (水)	26日 (水)	20日 (木)
	6月13日(木) 17時 OAC50周年感謝の集い					
7月	23日 (火)	9日 (火)	11日 (木)			18日 (木)
8月	基本的に休会とし、必要に応じ開催。事務局にご相談ください。					
9月	19日 (木)	10日 (火)	12日 (木)	4日 (水)	25日 (水)	26日 (木)
10月	22日 (火)	8日 (火)	10日 (木)			24日 (木)
11月		12日 (火)	7日 (木)	6日 (水)	27日 (水)	21日 (木)
12月	10日 (火)	17日 (火)	12日 (木)			19日 (木)
2025 1月	OAC 賀詞交歓会 16日(木) 17時～					
	28日 (火)	21日 (火)	23日 (木)	15日 (水)	22日 (水)	30日 (木)
2月	来期打合せ 理事・委員長	4日 (火)	13日 (木)			20日 (木)
3月	11日 (火)	4日 (火)	13日 (木)	5日 (水)	12日 (水)	18日 (火)



〒104-0061 東京都中央区銀座 1-14-7 銀座吉澤ビル9F

TEL03-3561-1220 FAX03-3561-1221

Mail [info@oac.or.jp](mailto:info@oac.or.jp)

HP : <http://www.oac.or.jp/>

face book : <http://www.facebook.com/creativeOAC>

twitter アカウント : creativeOAC